

「食料生産基地再生のための先端技術展開事業」 研究成果発表会【岩手県漁業】を開催しました。

1月20日(水)岩手県水産技術センターにて、上記発表会を開催しました。当日は漁業関係者、自治体担当者、研究者など80名余りが参加し、活発な議論が展開されました。当研究成果は被災地域の水産業復興のために広く利用されることを目的にしています。詳しい課題内容、オープンラボの利用など、興味のある方はいつでもお問合せください。オープンラボ案内<http://www.iwate-suigi.jp/laboratory/index.html>

発表課題

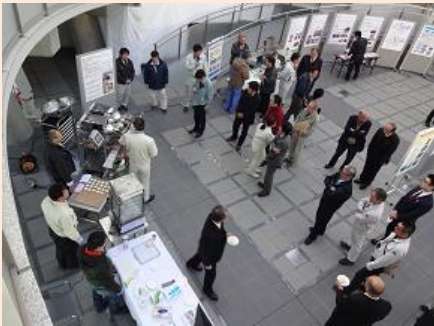
1. 沖合・沿岸海洋環境情報統合システムの実証研究(東北区水産研究所 資源海洋部長 岩崎俊秀)
2. 三陸サケ回帰率向上のための放流技術の高度化実証研究(東北区水産研究所 沿岸漁業資源研究センター長 黒川忠英)
3. ワカメ等の大規模海洋養殖の効率化システムの実証研究(岩手県水産技術センター首席専研兼企画指導部長 久慈康支)
4. アワビの緊急増殖技術開発研究主要成果 新たな採苗・飼育板による初期稚貝飼育技術の開発(東北区水産研究所 沿岸資源グループ主任研究員 高見秀輝)
5. サバ類の短期蓄養と高品質出荷技術の開発(水産大学校 水産資源利用学専攻分野教授 前田俊道)
6. 高品質魚選別技術及び高鮮度冷凍魚製造技術の開発(中央水産研究所 水産物応用開発研究センター長 金庭正樹)
7. 漁業関係関連施設のエネルギー利用の可視化と低コスト化研究(基本契約の削減)(株)ミツイ エネルギーソリューション推進部長 小田島俊和)



挨拶する農林水産技術
会議事務局 加藤課長
補佐



発表の様子



エントランスホールでは、当事業に関係した食品加工機械の展示・デモンストレーション、試食を行ったほか、試験研究結果を紹介したポスターセッション及びパネル展示などを行いました。

今回、試食を行った「釜石海まん」は当課題の技術成果を取り入れ、いりや水産(株)他、地元食品加工会社が6次産業化にむけて開発、商品化したものです。新聞各社でも紹介され、好評価を得ている事例の1つです。



レオン自動機(株)担当者による包餡技術
解説の様子